

# 令和2年度 第1回県政参画電子アンケート 「新しい生活様式の定着状況」等に関するアンケート結果

## 1 調査概要

- テーマ 「新しい生活様式の定着状況」等に関するアンケート
- 実施期間 令和3年6月19日～6月29日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 583名
- 回答数 371名(回答率 63.6%)

## 2 目的・概要

鳥取県では、新型コロナウイルス感染症を克服するため、一人ひとりが感染予防や拡大防止に取り組むとともに、県内の観光地、お店等を県民一体となって応援することを目的に、鳥取型「新しい生活様式」を推進しています。

今回のアンケートは、鳥取型「新しい生活様式」の定着状況の把握・推進、改善並びに県内観光地等の需要喚起に役立てることを目的として実施するものです。

※鳥取型「新しい生活様式」とは新型コロナウイルス克服3カ条や業種別のガイドラインの定着などにより、感染防止を図る新たな生活様式のことです。

### 【問1】鳥取県が定めている「新型コロナ克服3カ条」をご存じですか。(1つだけ選択)

(参考)新型コロナ克服3カ条とは

### 新型コロナ克服3カ条

**1. 人と人 間が愛だ**  
あいだがあいだ  
人と人が約2m離れば、飛沫感染防止で安心！



★こんな工夫も…

- ・レジに並ぶときは前後にスペース
- ・テレビ会議やテレワーク、電話もOK
- ・歌や応援は十分な距離をとって
- ・オンライン飲み会や遠隔診療

**2. 三つもの 密だとミスだ**  
みつだのみすだ  
「三つの密」の回避(密閉・密集・密接)



※これまでの集団感染が生じた場の共通点を踏まえると、「三つの密」のある場が感染拡大のリスクが高いと考えられています。

★こんな工夫も…

- ・定期的に窓をあけるなどこまめに換気(できれば2方向で)
- ・スーパーやジョギング、公園は少人数、空いた時間に
- ・待てる買い物は通販で
- ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ・飲食は持ち帰り、宅配も
- ・会話する際は、可能な限り対面を避ける
- ・食事は大皿を避け、料理は個々に

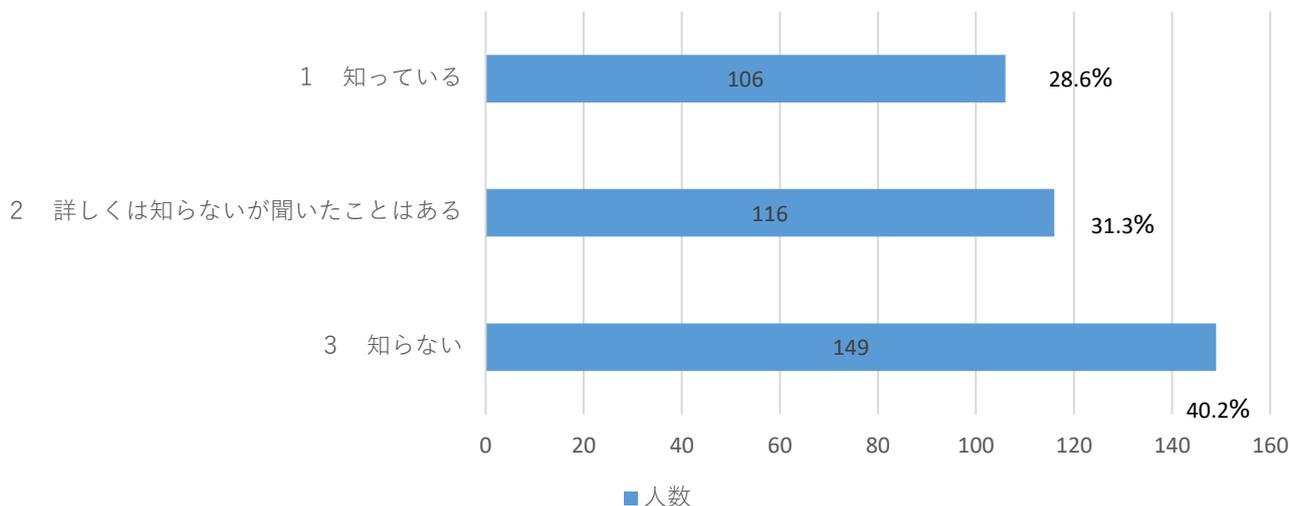
**3. 幸せは 予防で呼ぼう**  
よぼうでよぼう  
こまめな手洗いや咳エチケットで、新型コロナウイルス感染症を予防！



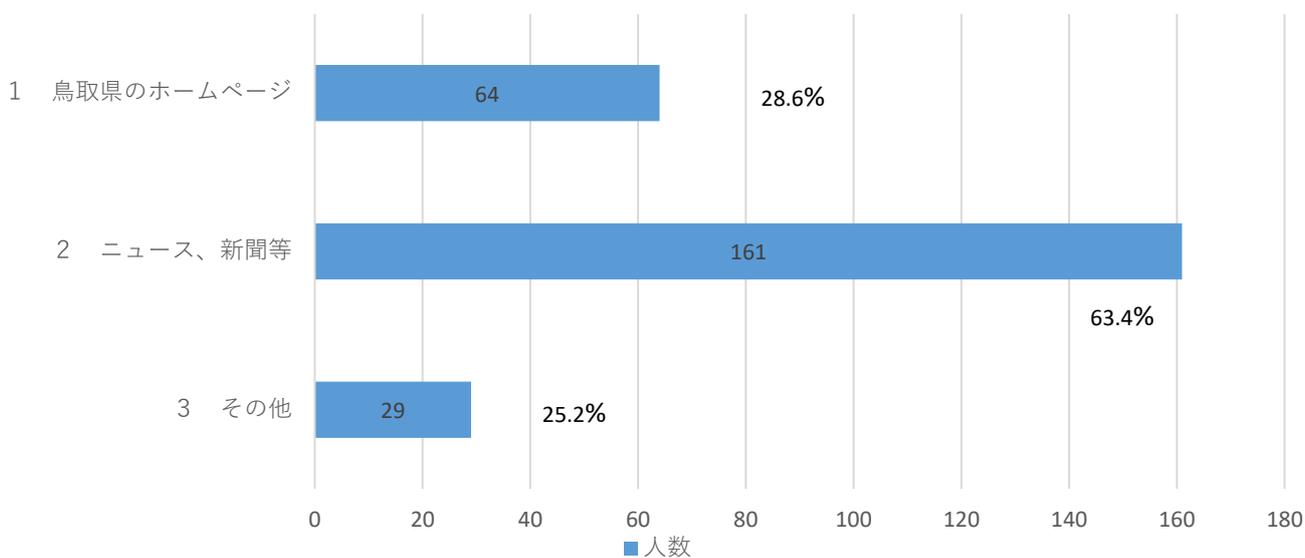
※発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモしておきましょう。

★こんな工夫も…

- ・トイレのふたを閉めて汚物を流す
- ・ビニール袋で密閉してごみを廃棄
- ・発熱、風邪症状など、無理せず自宅療養 (最寄りの発熱・帰国者・接触者相談センターにご相談ください)
- ・症状がなくても、マスクを着用して会話をするのがエチケット



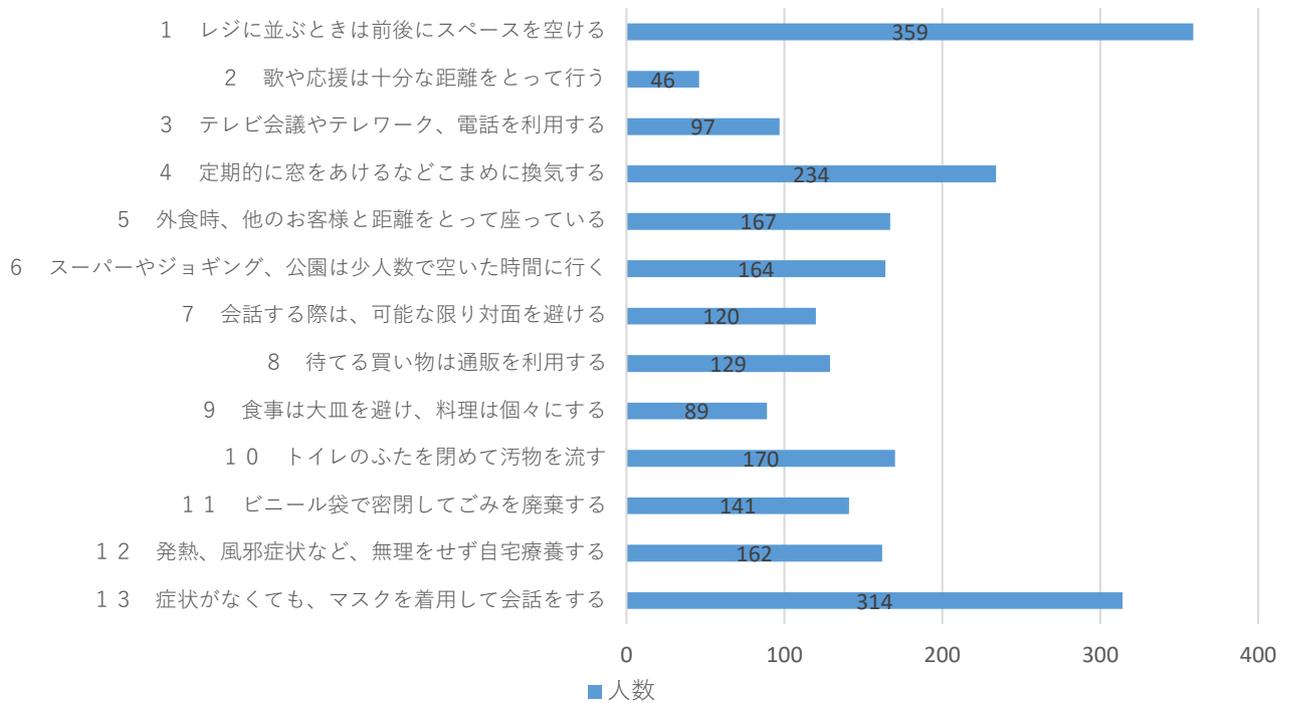
**【問2】どこで見聞きされましたか？（問1で1、2を選択した方のみ、複数回答可）**



※「3 その他」の回答抜粋

県の SNS アカウント、トリピーメール、県のコロナ対策 LINE など

**【問3】あなたが普段の生活において、次の1～13の中で、実施しているものがあれば教えてください。（複数回答可）**



【問4】問3の1～13の項目のうち「できない・していない」理由がある方は、その番号と理由を教えてください。(2,000文字以内、任意)

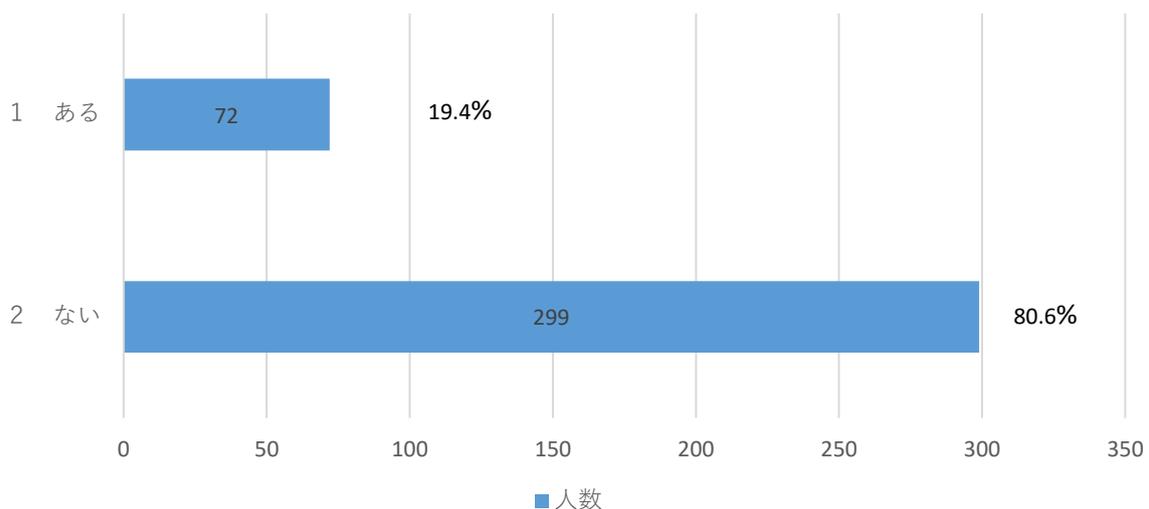
○3:テレワークを行うことができない職種(医療、介護、教育等)のため。

○7:仕事上、対面での会話が多いため。

○8:スーパーを普段利用しているため。県内でお金を消費するため。宅配業者の負担をなるべく軽減させるため。

など

【問5】新型コロナウイルス感染症予防や拡大防止のため、問3の1～13の行動様式以外に取り入れた方がいと思う行動はありますか。

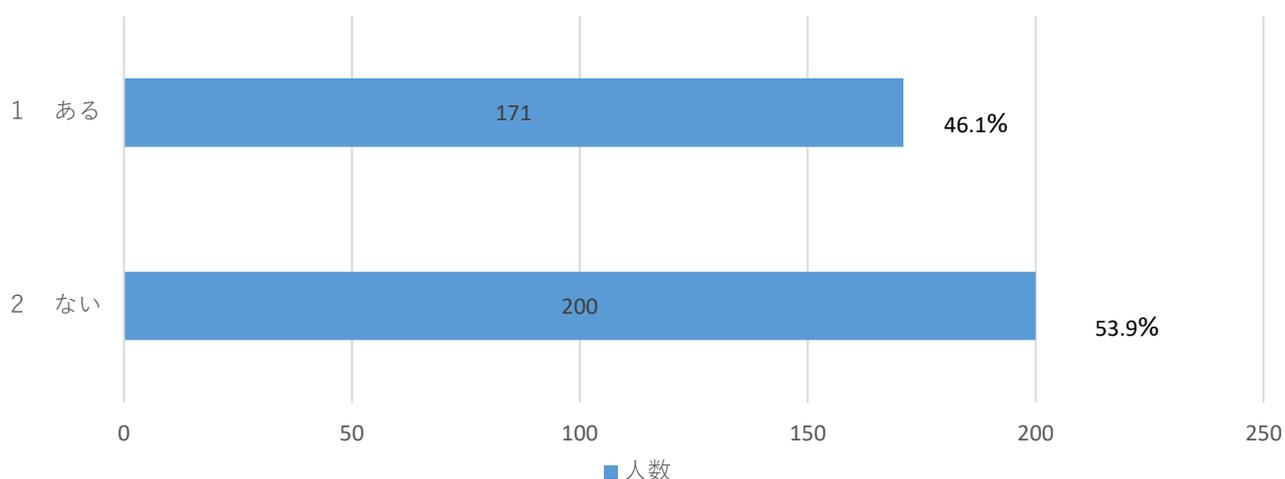


【問6】新型コロナウイルス感染症予防や拡大防止のため、取り入れた方がいと思う行動について教えてください。(問5で「1 ある」を選択された方のみ回答)

○回答抜粋

手洗いうがい、手指消毒、人が集まる行事を中止にする、休日を分散させる など

【問7】 問3の1～13の行動様式を行っていても不安に感じることはありますか？



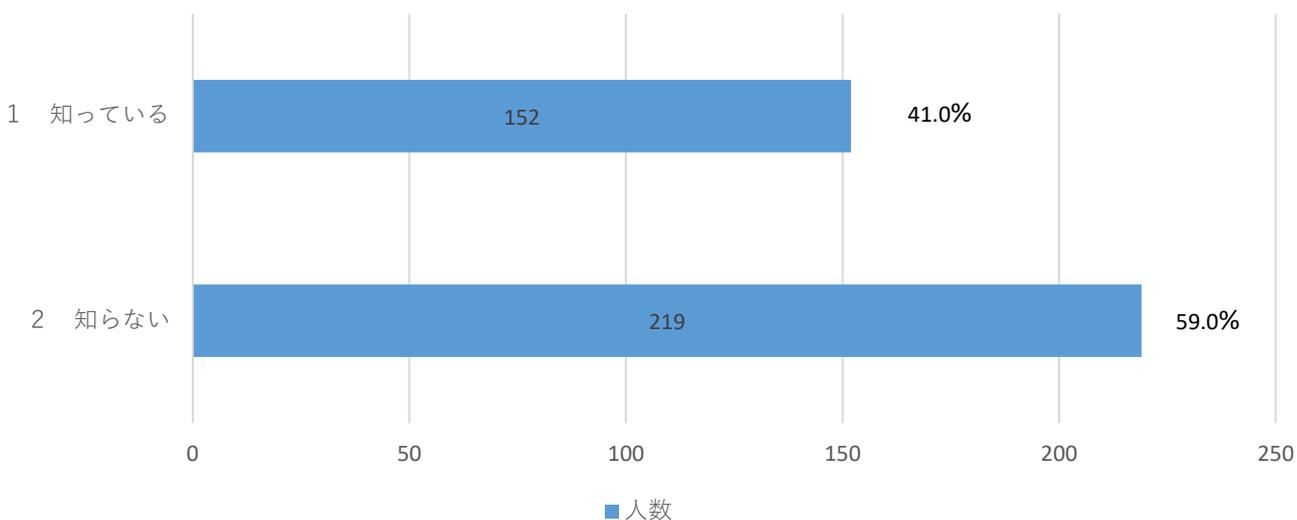
【問8】 (問7で「1 ある」を選択された方は必須) 具体的にどのような不安がありますか(2000文字以内任意)。(例: 乳幼児を抱っこしたり、高齢者を介護する時、密着しないといけながマスク、手洗いだけでよいかわからない)

○ 病院内での待ち時間。病院から帰った後に、手洗いでなく服も着替えたほうが良いのか。

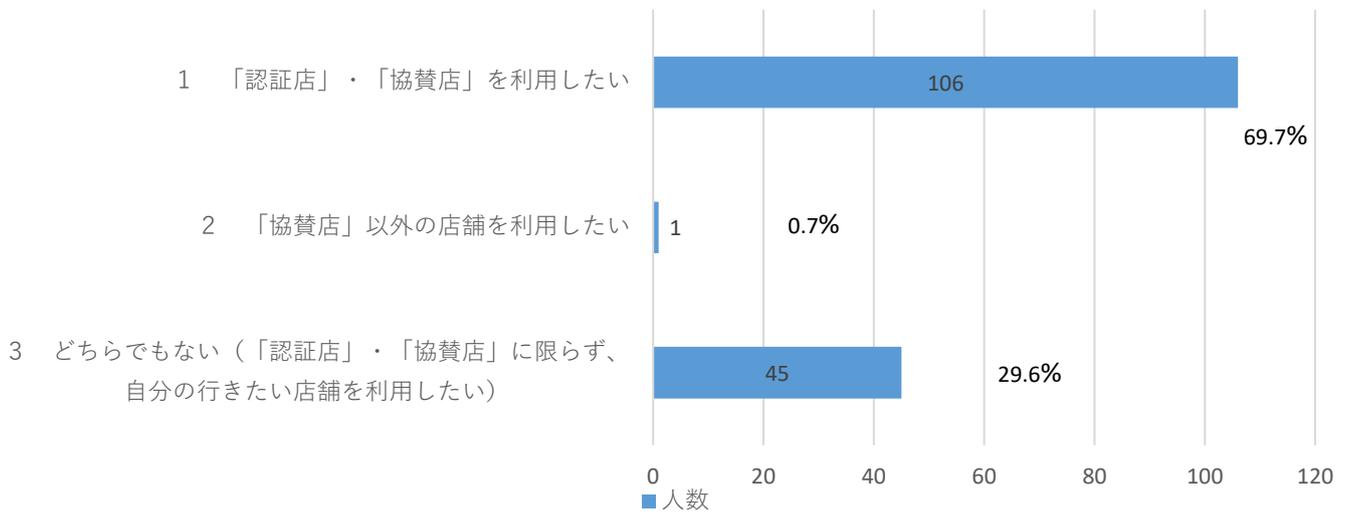
○ 買い物のときに買い物かごやカート、ドアの取っ手を触る。

など

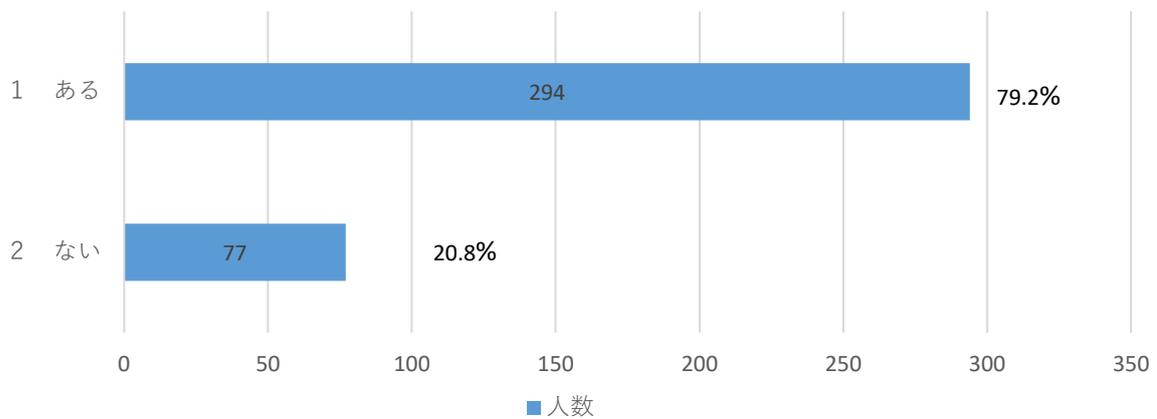
【問9】 鳥取県では新型コロナウイルス感染予防対策に自ら取り組む店舗を、感染予防対策「協賛店」として登録する制度を開始しています。あなたは、この「協賛店制度」をご存じですか。



【問10】 (問9で「1 知っている」を選択された方は必須) 県民の皆様がより安心して利用できる制度として「協賛店」の模範的店舗を「認証店」として県が認証する制度を6月19日(金)から開始しています。あなたは、この「認証店」と「協賛店」を利用したいですか。



【問11】6月19日（金）から全都道府県で移動自粛が段階的に解除となり、人の交流が盛んになりますが、不安はありますか。



## 緊急事態宣言解除後の外出自粛、イベント開催制限等の緩和方針

今後、次のとおり緩和していく方針です。ただし、他県との関係や県内における新たな感染者が発生した場合などで変更される場合がありますので、ご注意ください。

区分	外出自粛				イベント等の開催条件		
	県境を越える人の移動	観光振興の観点での人の移動	カラオケ、スポーツジム等	接待を伴う飲食業、ライブハウス等	プロスポーツ等	屋外イベント等	屋内イベント等
ステップ① 5/25～5/31	不要不急の県境を越える移動は避けましょう。	観光振興は県内で徐々に、人との間隔は確保。	外出自粛		開催自粛	200人以下十分な間隔で実施を。	100人以下収容定員50%以内で実施を。
ステップ② 6/1～6/18	埼玉、千葉、東京、神奈川、北海道との間の不要不急の県境を越える移動は慎重に。						
ステップ③ 6/19～7/9		観光振興は県境を越えるものを含めて徐々に、人との間隔は確保。	人数管理・感染防止を徹底し、厳密なガイドラインを遵守した鳥取型新しい生活様式協賛店の利用は構いません。	同左	無観客試合で実施を。	1000人以下十分な間隔で実施を。	1000人以下収容定員50%以内で実施を。
ステップ④ 7/10～7/31	全都道府県で移動自粛を解除。				5000人以下収容定員の50%以内で実施を。	5000人以下十分な間隔で実施を。	5000人以下収容定員50%以内で実施を。
移行期間後 8/1～					収容定員50%以内で実施を。	十分な間隔で実施を。	収容定員50%以内で実施を。

※ ○イベント等の条件は、どちらか小さい方が限度。

○全国的、広域的イベントについては、7月31日まで開催自粛をお願いします。その後は、十分な間隔をとって実施してください。

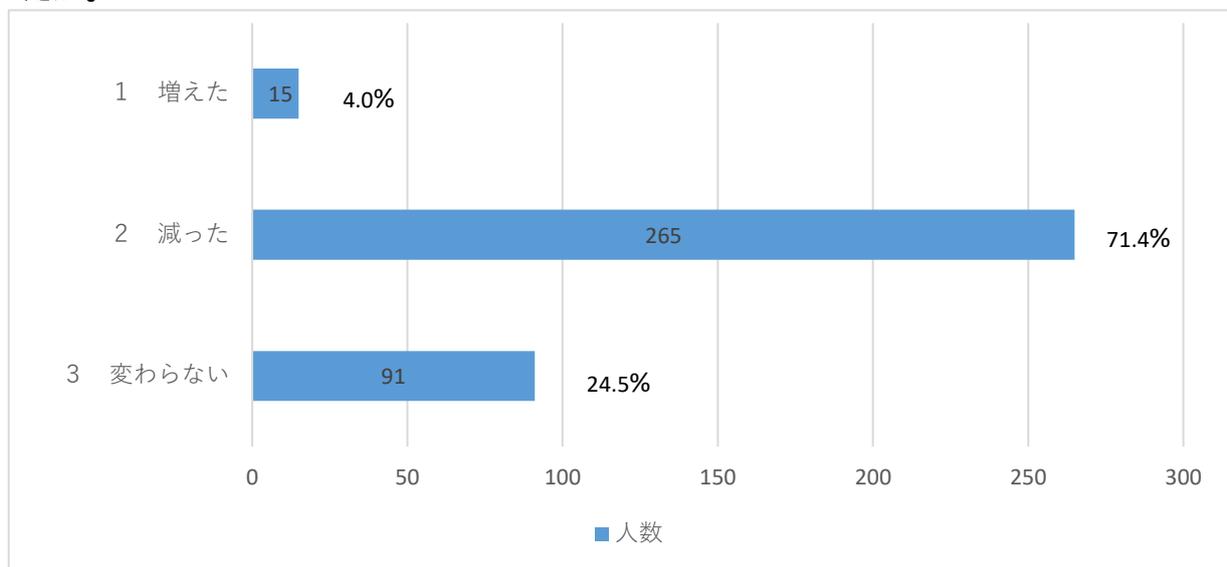
【問12】(問11で「1 ある」を選択された方) どういったことが不安ですか。また、不安を取り除くためには何が必要だと考えますか。(2000文字以内、任意)

○コロナの流行地域からの観光客や帰省客に不安があるが、症状が軽くてもPCR検査が可能な体制があれば不安は軽くなる。

○近隣の県は陽性者の発生件数が多いので、ウイルスが流入してくる可能性が高くなる。なるべく外出を控える。

など

【問13】全国的にコロナの感染拡大が広がる前と比べて県内の観光地やお店に行く頻度はどうなりましたか。



【問14】(問13で「2 減った」を選択された方) どうしたら以前のように安心して県内の観光地やお店に出かけることができるようになりますか。(2000文字以内 任意)

○全国的に感染が収束すること。

○ワクチン、特効薬が開発されること。

など

【問15】鳥取県では、コロナ禍の中で頑張る県内の飲食店、観光施設、アクティビティーなどを利用して応援する「美味しい 楽しい 行ってみ隊」の活動に取り組んでいるところです。県内のお店や観光地、アクティビティーを応援するアイデアがあれば記載してください(2000文字以内 任意)。

○宅配や通信販売の料金補助、SNS 投稿キャンペーンの推進

○飲食店や観光施設など、行く前に混み具合を確認できる方法、手段があると良い。

など